

山梨県立身延高等学校

第2回学校運営協議会 【議事録】

日時・場所：令和8年10月13日（火）14時10分～ ・ 身延高校

第1部 授業参観（14：10～14：55）（ライフミュージアムの作品見学を含む）

1～3年次生の6校時の授業を参観しました。

校内を歩きながら本校生徒の作品や身延中学校や南部中学校の作品、大野山保育園児の作品、地域やPTAの方の作品を見学しました。玄関に飾られた子どもたちの発見や驚きを書いた葉を貼った大きな木の共同作品が素晴らしかったと御感想をいただきました。

第2部 生徒・地域住民・学校運営協議会委員でのグループディスカッション

（15：10～16：05）

4つのグループに分かれて、本校の魅力化・活性化プランについて、意見交換をしました。

（校長より）

本日は、御参加、ありがとうございます。この後の学校運営協議会に先立ちまして、地域の方々や生徒を交えてのグループディスカッションを行います。目的は、本校の魅力化・活性化プランについてより良いものにしていくことです。生徒の皆さんはこのプランについて初めて聞くかもしれませんが、生徒が減っている現状で、地元の子どもたちが少しでも本校に来てくれて、地元に高校生がたくさんいることが望ましく、そのことにより地域も活性化します。4月からこのプランを推進してきています。

グループディスカッションのポイント3つ

1. 建設的な意見を出してもらいたい。（プランをより良くする）
2. 教員の働き方改革を考える、負担を増やさない。
3. 魅力化・活性化を自分事として捉える（自分たちならどうするか）

これを実行していくためには、学校・生徒・地域の協力が大切です。

【各グループの意見】

- *生徒と教員、生徒と生徒など人数が少ない分関わりがよい。仲が良い。
- *人数が少ないので部活が少ない *富士川町から身延に来るバスが少ない
- *身延山高校のバスを利用させてもらう（身延山高校と連携）
- *合同で部活動ができれば良いが、移動距離などの問題があり難しい
- *身延高校に誇りを持っている生徒が少ないと感じる *周りに何もない
- *積極的に身延高校を選択するような地元ならではの独自のものをつくる
- *身延町で平地を開発して住宅を増やす *近隣高との違い
- *商業施設があると良い（飲食店も少ない） *SNSをつかう
- *先生たちの働き方について、分業制の導入 *連携を活かす
- *やりたい部活が少ないので部活動を増やす *制服を変える
- *他の高校と同じことをやっても増えないと思うので、違うことをやってみる
- *留学生などを入れていくべき *あるものに特化した科をつくる
- *身延山高校とも合同で部活動などを行う *少ない中でもよく頑張っている
- *イオンとは言わないが、集まれる場所とかがあれば良い
- *学校の周辺に日を決めてキッチンカーなどを出す
- *学校に来るパン屋さんみたいなお店を増やす
- *近くに働ける場所を増やすことを考える *地元に誇りを持っている人が少ない
- *連携を強みにできるようにする *進学率・学力・部活など上げていく
- *ここでしかできないことを取り入れる（起業など）
- *個性が薄れている、他校の方が個性が強い

など

各グループで、様々な意見をいただきありがとうございました。

第3部 運営協議会（16：15～17：00）

司会：教頭 有泉

開会

会長あいさつ

お忙しいところ学校運営協議会への参加ありがとうございます。授業参観やグループディスカッションを通して、子どもたちが身延高校の魅力を伺うと少人数であり、先生方が生徒ひとり一人に丁寧に対応してくれること、その反面部活動が少なく、

人口減で地域が寂しくなっているという話でした。この会議を通して、身延高校の魅力化・活性化のために少しでも何かできればと思います。

校長あいさつ

＊本日はありがとうございます。初めてグループディスカッションを行い生徒たちにとって、よい経験になりました。

（本校の近況について報告：1，2，3年次ともそれぞれ充実した学校生活を送っています。部活動では陸上部が6年連続インターハイに出場、野球部も夏・秋の大会では私立の強豪校相手によく頑張ってくれました。）

＊本校の魅力化・活性化プランについて資料の説明や現在の活動について説明

意見交換会（司会：松山会長）

授業参観・グループディスカッション等を踏まえて各委員からの意見
（各委員より）

＊この半年間で学校と地域の魅力化・活性化について各所で進んできている。

＊地元（身延町）を盛り上げることも大切である。

＊地域が元気になることが山梨全体の課題（身延高校がモデルになる）

＊学校は地域の核となる。

＊生徒たちと話ができて、本音で語ることができてよかった。今後もこういう機会を続けてもらいたい。

＊校長先生を中心に改革を進めていて、これに関わる人が増えていくことが大切。

＊生徒と話して、生徒がキラキラしていると感じた。

＊生徒たちの先輩後輩、同級生の縦横の繋がりが強い。

＊高校生が大人に交じりしっかりと話している。成長を感じる。

＊このような生徒との対話をこれからも続けていきたい。

＊学校のハード面を整備している。今年度は寄付等で済美寮の施設・設備を直している。

＊通学バスの運行時間の改善・増便や南部から通学バスがあるとよい。

＊バスの時間までの放課後を利用して、地域の方による地域の塾（自習）などを充実させる。

＊高大連携を通して、県立大学への進学を増やせないか。

＊地元企業を知るような機会を作してほしい。

* 峡南 3 町の生徒を増やす。

* D X の推進

など

連絡

(1) 【前期】授業アンケート・学校改善アンケート・学校保健

教頭よりアンケートの気になる項目について説明

(家庭学習や図書館の活用など)

学校保健について、今年度、生徒の健康把握のため長期休業明けに
身体計測の実施、夏休み中の家庭での過ごし方を確認

(気になる生徒には、保護者に連絡を取り対応)

働き方改革について

時期にもよるが、数名、在校時間が多い先生もいるが全体としては問題ない。

(2) その他

次回は、2 月 4 日(木) 総合学科発表会後 16 : 30 頃

(1 月中旬までに後期アンケート結果と案内を送付します)

委員の皆様にもアンケートに回答していただく予定

閉会

時間を超過してしまい申し訳ありません。

本日は、誠にありがとうございました。